

第2学年 学級活動指導案

指導者 小原 恵

児童 男16名 女16名 計32名

場所 2年教室

- 1 題材名 『『パワーアップ生かつ』 大きくせん ～メディアのまき～』
学級活動（2）ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 活動を意図した背景

（1）児童の実態

本学級の児童は、素直で学級のめあてや児童会の生活目標を守ろうと意識して生活している。今まで、「あいさつ」「廊下歩行」のパワーアップポイントを決め、学校生活の改善に取り組んできた。取り組みについての話し合いを通して自分事としてとらえ積極的に取り組んでいこうとする姿が見られている。子どもたち同士でも『「パワーアップ」だよ』と互いに声をかけ合いながら学級全体で取り組んでいこうとしている。

学校全体で取り組んでいる「すっきり週間」では、「早寝・早起き・朝ご飯・朝うんち」と「運動」「歯みがき」について基本的な生活習慣の定着をめざし、取り組みを行った。そこでは、真面目に取り組んでいる様子がうかがえた。

しかし、小中連携で取り組んだスタディーウィークでは、メディア利用、睡眠習慣、時間の使い方に関する問題があることがわかった。特にメディア利用については、課題が多い。さらに、望ましくない利用の仕方による危険やリスクについて理解していない様子がある。

（2）教師の思い・願い

本題材では、低学年のうちにメディアの望ましくない利用が心身への悪影響があることを理解させるとともに、メディア以外の楽しみなど視野を広げることでよりよい自分への自己実現にむけて意欲・関心が高まると考え本題材を設定した。アンケートを取り、その結果から自分たちのメディア使用の課題を知り、自分事として考えることができるようにする。今回メディア利用について考えることで、望ましくない利用は、睡眠不足や視力低下などの体への悪影響があることに気付かせたい。それによって、具体的な解決方法を話し合い目標を意志決定することにつなげていきたい。

さらに取り組みを通して「できた、やりとげた」と実践についての達成感や満足感が味わえるようにしたい。

(3) 研究主題に関わって

視点1 かかわる について

- ・養護教諭から、メディア利用に関わる具体的な説明を聞くことで、自分の生活と関連付けて考えられるようにする。

視点2 つながる について

- ・心身への悪影響について話し合うことで、よりよい改善方法を見付けこれからの健康な生活に気付くことができるようにする。

3 活動のねらいと評価規準

【活動のねらい】

今までのメディア利用の問題点に気付き、心身への影響を考えさせ、メディア利用のめあてを決めて、健康に過ごすことができるようにする・

【評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 活動の流れ

月 日	○活動の内容 ・児童の思いや願い	☆指導上の留意点と 研究に関わる視点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
9月 8日(金)	○メディアについてのアンケート ・自分のメディアの使い方はどうかな。 ・ちょっと良くないところがあるかもしれないな。	☆正直にアンケートに答えるよう声掛けをする。アンケートの結果は、学活の時間に知らせることを伝え、興味をもたせる。	◎アンケートに答えることで自己の生活を振り返ろうとしている。 【主体的態度】 〈アンケート〉
9月29日(金) 本時	○メディアのしすぎによる心身への影響を知り、自分のめあてを決めて守ることの意義を理解する。 ・宿題をしてからゲームをしたいな。 ・動画を見るときは、やるべきことが終わってからにしたいな。	☆養護教諭の話を全体で整理することで、メディアが心身に及ぼす影響を自分事として捉えさせる。 →視点1・2	◎メディア利用についての問題点を考えている。 【思考・判断・表現】 〈観察〉 ◎自分の課題に合った目標を決めている。 【思考・判断・表現】 〈めあてカード〉
9月29日(金) ～ 10月5日(木)	○自分の立てためあてを振り返る。	☆授業の様子を学級通信で家庭に知らせ、家庭の協力を得る。 ☆めあてカードのチェックから、自分のめあての達成度を視覚でとらえさせる。 →視点2	◎自分のめあてカードを振り返り、メディアに関して見直しをもち、改善しようとしている。 【主体的態度】 (めあてカード)

5 本時のねらい

メディアの使いすぎによる心身への影響を知り、自分のめあてを決めることができる。

6 本時の展開

	児童の活動	・教師の支援 ◎評価規準
つ か む 5 分	1 アンケートの結果から気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをしている人が多い。 ・動画を見ている人が多い。 2 本時のめあてを確認する。	・アンケートの結果を表示する。
げん気に生かすするために、メディアリようのめあてをきめよう。		
さ ぐ る 15 分	3 メディア利用についての問題点を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・視力が悪くなる。 ・寝坊、睡眠不足、食欲の低下 ・体と心に悪い。 ・勉強時間が減る。 ・みんなと遊ぶ日が減る。 4 健康についての映像を観る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーライトの影響。 ・メディアの時間を減らしてよく寝ると、朝すっきり起きられる。 ・健康に過ごすためには・・・。 5 養護教諭の話聞く。	・メディア利用をしすぎると問題点があることを捉えさせる。 ・ブルーライトの悪影響について気付かせたい。 ・養護教諭の話整理して板書したり、イラストを提示したりして、視覚的に捉えやすくする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点1 養護教諭から、メディア利用に関わる具体的な説明を聞くことで、自分の生活と関連付けて考えられるようにする。</p> </div>

見 つ け る 10 分	<p>6 メディアの利用時間をちょうどよくするとどんなよいことがあるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 目のけんこうを守れる。 • 朝すっきり起きれる。 • 他のことができる。 • みんなで遊ぶ時間が増える。 	<p>視点2</p> <p>心身への悪影響について話し合うことで、よりよい改善方法を見つけ、これからの健康な生活に気付くことができるようにする。</p>
決 め る 15 分	<p>7 自分のめあてを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ~をしてから~をします。 • ~を見るときは~をおわってからやります。 ~時間までにします。 • ○時になったら、親にあずけます。 • ~の時間を増やします。 	<p>◎自分の課題に合った目標を決めている。</p> <p>【主体的態度】 (めあてカード)</p>